学校番号	１２０６

令和８年度　家庭科

教科	（共）家庭	科目	（学）自己表現（生活編 A）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目は、生活を豊かに楽しく変化に富んだものにするために、各々「ハンドメイド」のよさを見直し、手芸、和裁、洋裁等の制作物を作る楽しさとその技術を学びましょう。
手縫いの技術だけでなく、ミシンの縫製技術を実学的に学び、その技術を習得しましょう。
また、個性を重視し、自分らしさを表現する楽しさを味わいましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・手芸、和裁、洋裁等に関する知識を把握し、手縫い及びミシンの使い方を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
・作品のデザインや色彩について思考・判断し、制作物（和服及び洋服、小物、人形等）として表現する。
【学びに向かう力、人間性等】
・手芸、和裁、洋裁等に関して、生活に必要な技能を主体的に学び、家庭生活の中で活用する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	布の素材（材料）や被服の構成、被服製作の理論及び技術について理解し、創造的に製作するための必要な知識を身につけている。	和服や洋服、小物、人形などの構成や素材（材料）及び製作するにあたり、色や柄、デザインなど自分の趣味・嗜好との関連を見出すことができる。 目的に応じてどのような材料が適しているか、各々判断しながら製作する力を養う。	和服や洋服、手芸等の構成・材料・製作について関心を持ち、家庭生活の充実及び向上をめざして意欲的に取り組み、意欲的に製作する態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	基礎縫い	オリエンテーション ・基礎的な手縫い ・裁縫道具の使い方 ・ミシンの基礎縫い	a:基礎的な手縫いやミシンの糸の止め方などについての技術が習得できる b:配色や柄を組み合わせ、作品のデザインを考えることができる c:与えられた課題に主体的に取り組もうとしている	制作物(基礎縫い) 実技テスト	進度表 ワークシート	プリント 授業観察
	小物制作	・巾着つくり ・三角巾づくり	a:用途に応じた素材の特徴が理解し、手縫いやミシンを用いて課題を進めることができる b:配色と素材を考慮し、作品のデザインを考えることができる c:与えられた課題に主体的に取り組もうとしている	制作物(巾着及び三角巾)	進度表 ワークシート	プリント 授業観察
2学期	作業着作成	・作業用エプロン制作	a:用途に応じた素材の特徴が理解し、ミシンを扱い作業することができる b:用途に応じた素材を考慮し、作品のデザインを考えることができる c:与えられた課題に主体的に取り組み、デザインを工夫することができる	制作物(作業用エプロン)	進度表 ワークシート	プリント 授業観察
	和裁1	・半纏(てん)づくり	a:半纏に必要な布地の特徴が理解でき、さらに自分のサイズを測り、型紙を作成することができる b:半纏に必要な素材(生地)を考え、デザインをイメージすることができる c:和裁は平面構成であることを理解し、その課題に主体的に取り組もうとしている	制作物(半纏)	進度表 ワークシート	プリント 授業観察

3 学 期	和 裁 2	・半纏(てん)づくり	a:半纏に必要な布地の特徴が理解でき、さらに自分のサイズを測り、型紙を作成することができる b:半纏に必要な素材（生地）を考え、デザインをイメージすることができる c:和裁は平面構成であることを理解し、その課題に主体的に取り組もうとしている	制 作 物 （半纏）	進度表 ワークシート	プリント 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度